

風疹ワクチン接種に関する緊急要望書

貴職におかれましては、常日頃より、市民の健康増進に深いご理解とご尽力を頂き感謝申し上げます。

さて、国立感染症研究所感染症疫学センターが毎週発表している「風疹流行に関する緊急情報」によると、本年7月頃から首都圏を中心に急増し始めた風疹は11月7日現在で1,884人となり、5年前に多くの先天性風疹症候群の患者を出してしまった時の状況に極めて似ており、危険な状態です。

風疹は、妊婦が妊娠20週目ごろまでに感染すると、赤ちゃんに難聴や白内障、心臓病が起きる先天性風疹症候群を発症する恐れがある為、すでに日本産婦人科医師会においても、妊娠中の人は速やかに抗体検査を受け、ウイルスへの抵抗力が十分でない人は、人混みを避けるよう注意喚起を行っています。

特に本年の風疹流行の中心は成人であり、特に30代から50代の男性に多く発症しているようです。この年代は定期接種として風疹含有ワクチンの接種を受ける機会がなかったか、或いは摂取率が低いとされる年齢に合致します。このような流行の状況を踏まえ、下記の通り強く要望致します。

記

1. 風疹の流行状況が極めて異例であることから、緊急対策としてワクチン接種に対する助成を行うこと。
2. 接種対象者は30代から50代のワクチン未接種と思われる市民を対象とすること。
3. 風疹のワクチン接種助成条件に埼玉県が行ってる抗体検査の結果の有無は不要とすること。
4. 市内の各種企業・団体と連携を図り、予防接種の推奨など風疹対策につとめること。
5. 予防策の周知啓発を早急に徹底すること。

平成30年11月26日

春日部市長 石川 良三 様

公明党春日部市議団
幹事長 中川 朗